

知財紛争処理システムの機能強化 に向けた方向性について（案）

—知的財産を活用したイノベーション創出の基盤の確立に向けて—

平成 28 年 3 月

知的財産戦略本部 検証・評価・企画委員会
知財紛争処理システム検討委員会

目次

はじめに

基本的視点

第1. 証拠収集手続

1. 現状と課題
2. 論点
 - (1) 基本的な考え方
 - (2) 訴え提起前の証拠収集手続
 - (3) 訴え提起後の証拠収集手続
3. 方向性

第2. 損害賠償額

1. 現状と課題
2. 論点
 - (1) 基本的な考え方
 - (2) 現行特許法の規定に関する課題
 - (3) 現行特許法の考え方とは異なる方策
 - (4) 損害賠償額は当事者で決められるという方法
 - (5) 弁護士費用を含む訴訟に必要な費用の負担
3. 方向性

第3. 権利の安定性

1. 現状と課題
2. 論点
 - (1) 基本的考え方
 - (2) 紛争処理段階
 - (3) 権利付与段階
3. 方向性

第4. 差止請求権

1. 現状と課題
2. 論点
 - (1) 基本的な考え方
 - (2) 標準必須特許の場合
 - (3) P A Eによる権利行使の場合
3. 方向性

第5. その他

1. 中小企業支援

(1) 人的リソースに関する問題について

(2) 裁判に関する経費の問題について

2. 地方における知財司法アクセスの改善

3. 知財紛争処理システムに関する情報公開等

4. 方向性

おわりに

別紙 具体的に検討を進めることが適当な事項

知財紛争総処理システム検討委員会の検討経緯

知財紛争処理システム検討委員会構成員名簿

(別添) 参考資料集